③　地域の魅力を創出するコンテンツコーディネーター　募集人数:1名

【プロジェクト概要】

遠野市には、全世帯の約 85%が加入するケーブルテレビがあります。更に平成4年度からは遠野市内全域が光ケーブルに切り替わり、安定した超高速インターネットにも対応しました。

インターネットの加入率は約 40%ですが、光サービスが開始されて間もなく、他社からの乗り換えや高速コースに契約を変更するなど評判も良く、コロナ禍の影響もあり、益々需要が高まっています。

また、地元のケーブルテレビなので顔が見えるサービスで安心感が加入者に定着しており、特に高齢者からも「テレビやネットのことは何でも遠野テレビ」との信頼関係も築かれています。

株式会社遠野テレビは、平成 12 年8月に遠野市が筆頭株主となって設立された公設民営の第三セクターで、設立から 22 年が経過しました。今では、市民生活にはなくてはならない遠野テレビとして地域のニュースや生活情報を毎日放送しています。さらに、行政情報や議会中継、地域のまつり等様々な行事やイベントも生中継を交えて放送しています。

このように、地域に密着した市民が求める質の良い情報をタイミングよくお届けできること、そして持続可能な地域づくりに貢献できることを目指して取り組んできました。

インフラ整備については、市内全域の光ケーブル切り替えが完了し、伝送路の高度化が図られましたが、コンテンツについては、視聴スタイルがテレビから様々なデバイスに替わりSNSによるコンテンツ配信など、コンテンツを取り巻く環境は、近年劇的に変化しています。

こうした環境の変化の中でも、遠野テレビは地域密着メディアとしての役割を確保することが重要ですが、制作人数の絶対数が恒常的に不足していることは大きな課題です。

制作人数が限られているために、次の人材をどのように育成するかが課題となりますが「熱意を持って番組を制作して発信したい」意欲こそが最も重要です。

【仕事の概要】

①遠野の情勢、歴史、文化などの様々な情報を協力隊としての新たな視点でリサーチ

②地域の魅力（人、食、生業）や観光資源のコンテンツ化に向けた企画立案、ディレクションなど

③映像の撮影、取材、原稿作成、編集業務、番組等のキャスター・リポーター

④より魅力的な「遠野」を SNS や動画配信サイトでも発信できるコンテンツを制作

遠野市は『遠野物語』発刊から 110 周年が経過しましたが、今尚、色あせることなく日本全国や世界の多くの人々に地域の魅力を発信し続けています。この地で、遠野の魅力を創出し、私たちと一緒に発信していきませんか。

【パートナー】

○株式会社遠野テレビ

平成 12 年8月に遠野市が筆頭株主となって設立された公設民営の第三セクターで、設立から 20 年が経過。主に遠野市からケーブルテレビ事業の運営を委託。また、近隣の町立ケーブルテレビ制作業務も受託し業務を行っている。

○菊池　裕（株式会社遠野テレビ 報道制作サブマネージャー）

岩手県遠野市出身。2002 年4月に入社し、主に制作技術関係の業務を担当。現在は報道制作サブマネージャーとして制作技術業務、企画番組制作、CM 制作、生中継業務等の統括責任者を担っている。

【求める人物】

・映像制作会社等に関わっていてカメラ及び映像制作ソフトを操作できる方
・情報発信に関わる企業で働いていた方
・クリエイティブな映像制作ができる方
・アナウンサーやキャスター経験のある方、若しくは興味のある方
・SNS の運用経験がある方
・遠野市の魅力を発信したい方
・地域活性化に取り組み、自分の実力を発揮したい方

【ミッション / ロードマップ】

1 年目

報道制作グループに所属し、報道制作スタッフとしてカメラや編集機の操作等について研修。更には市内の行事や出来事などを先輩スタッフと現場に出向き取材しながら地域の環境に慣れていただく。

2-3 年目

デスクの指示を受けながら自分自身の視点で地域の情報を収集して取材し、積極的に番組制作に取り組んでいただく。

①地域情報収集の方法

遠野市内の各地区センター（コミュニティセンター）を訪問して地域情報を収集

②番組制作においてはアシスタント的役割から、業務を通じて研修し収録スタッフ（カメラ、音響、照明、中継技術、リポーターなど）、映像編集、企画立案などにも携わっていただく。

3年目以降

協力隊期間3年が終了し、継続して当社で働く意欲があり遠野市に定住を希望する方で、社員採用の申し出がある場合は、所定の試験と3年間の業務実績等を客観的に評価し、採用基準を満たす方について社員として採用し業務に従事していただく。